



## 経済3団体長共同記者会見

## 物価と賃金の好循環実現を

日本・東京商工会議所、日本経済団体連合会、経済同友会の経済3団体は1月7日、都内のホテルで新年祝賀パーティーと共同記者会見を開催した。パーティーには、石破茂首相や全国の経営者ら約1500人が出席。パーティーであいさつした石破首相は、今年4月に開催される大阪・関西万博について触れるとともに、「豊かで、楽しくて、安全な日本を目指していきたい」と意欲を示した。

パーティー後に開いた3団体長による共同記者会見で日商の小林健会頭は、今年の日本経済について、「物価と賃金の好循環の実現に向けた取り組みを継続し、恒久化していく年にしなければならない」との認識を示すとともに、「過去2年はコストプッシュのインフレだったが、今後はデマンドプルに変えていく、需要を喚起していく必要がある」と述べ、消費者のデフレマインドの払拭が重要との考えを示した。ま

た、5人に1人が後期高齢者になる超高齢社会に入ることから、「高齢者も働ける人は働いてもらい、全般で言えば、社会保障も応能負担も強化していく契機之年にすべきだと思う」と述べた。

賃上げについては、「小規模事業者の底上げが鍵」と述べ、価格転嫁の商習慣化、労務費転嫁促進の必要性を強調。また、「地方のインフラを背負っている小規模企業が欠けていくということは、地方のインフラが毀損することになる。何としても伴走支援をしていかなければならない」と決意を表明した。



記者会見の後、握手する（左から）小林会頭、経済同友会の新浪剛史代表幹事、経団連の十倉雅和会長

## 全国観光振興大会2025 in長崎

## 「長崎アピール」採択

日本商工会議所は1月28～30日、長崎商工会議所、長崎県商工会議所連合会と共に、長崎市で「全国商工会議所観光振興大会2025 in長崎」を開催した。大会には、全国254商工会議所・連合会から1863人が参加。「ふるさとの光を観つけに！長崎遊学」をテーマに、初日に分科会、物産展、全体交流会、2日目に全体会議、最終日にエクスカッションなどを行った。全体会議では、商工会議所が旗振り役となって持続可能な観光地域づくりを進めていくための指針となる「長崎アピール」を採択したほか、2024年度「全国商工会議所きらり輝き観

光振興大賞」の表彰式を行った。

29日の全体会議であいさつした日商の小林健会頭は、「持続可能な観光地域づくり」が地方誘客と地域経済活性化の鍵になると指摘するとともに、「今こそ、商工会議所が中心となり、観光収益を地域に広く還元し、事業者や住民がその恩恵を実感できる形を目指すことが重要」と呼び掛けた。



全体会議であいさつする小林会頭



## 浅尾環境相との懇談会

# GX政策の推進求める

日本商工会議所は1月14日、浅尾慶一郎環境大臣との懇談会を都内で開催した。会合には、日商側は小林健会頭をはじめ商工会議所関係者7人、環境省側は浅尾大臣をはじめ幹部8人が出席した。

小林会頭は、GX政策推進の重要性を指摘し、政府一丸となった政策の継続と取り組みの加速を要望するとともに、「中小企業のGXは、コスト削減につながる『省エネ』から始めるべき。地方の観点からは、脱炭素電源の開発を、立地地域への産業・企業誘致と地元中小企業の振興につなげることが重要」と述べ、政府に強力な支援の継続を求めた。

また、原発政策の推進についても、「GX推進において不可欠」との認識を強調。柏崎刈羽原発など、安全性が確認された原発の再稼働はもとより、新設・リプレースを含め、政府が前面に立った原発政策の力強い推進を要望した。

浅尾大臣は、「2050年カーボンニュートラルに向けては、中小企業の取り組みが不可欠」と指摘。「Scope3排出量の算定・削減の動きが

急速に拡大する中、バリューチェーンの一翼を担う中小企業の取り組みが注目されている」と述べた。また、「地域経済の中心的な担い手である中小企業の脱炭素化は、地方創生の観点からも重要」と強調。地域・中小企業の脱炭素化に向けて、先行事例の横展開や地域への人材派遣、脱炭素アドバイザーなどの人材育成を進めるとともに、地域共生型・地域裨益型の再エネ導入や、燃料転換設備への支援などを通じたエネルギーの脱炭素化を後押ししていく方針を表明した。



懇談会で発言する小林会頭（左）と浅尾環境相

### 日本商工会議所発行の旬刊紙・月刊誌のご案内

## 会議所ニュース

日本商工会議所が月3回発行する新聞。日商や全国各地の商工会議所の政策提言や事業活動をはじめ、ビジネスに役立つ情報が満載です。



購読申し込み、  
広告出稿のご案内  
はこちら



月3回発行（1日、11日、21日）  
1部139円 年間購読料4,400円（送料・税込）

## 月刊石垣

日本商工会議所発行の月刊ビジネス情報誌。経営や地域活性化のヒントになる好事例を紹介する特集や各界で活躍する著名人の素顔に触れる「あの人を訪ねたい」など、厳選の企画・連載が目白押しです。



購読申し込み、  
広告出稿のご案内  
はこちら



毎月10日発行  
1部535円 年間購読料5,700円（送料・税込）



日商 ASSIST Biz



お問い合わせ先

商工会議所は、地域の商工業者の応援団です。